



しものせき トピックス

Shimonoseki Topics

世界ユース陸上で 銅メダル

下関商業高校3年の小田大樹さんが、7月10日〜14日までウクライナのドネツクで開催された第8回世界ユース陸上競技選手権大会に、走り幅跳びとメドレーリレーの選手として出場し、メドレーリレーで見事、銅メダルを獲得しました。

7月26日には、中尾友昭市長に大会の結果報告を行い、「次は、走り幅跳びで世界の表彰台に登りたい」と力強く語ってくれました。



ジュニア(吉見小学校の2チーム)

巖流島決戦 下関カッターレース

「第2回巖流島決戦 下関カッターレース大会」が8月4日に下関漁港前面海域でありました。市内のチームを中心に、全国から昨年より多い54チームが参加。各

チームは、180メートルのコースを往復してタイムを競いました。

今回は、下関市が復興支援している岩手県宮古市の高校生チームや市内の吉見小学校のチームも元気に参加し、詰めかけた応援団が盛んに声援を送っていました。



新工場建設 協定調印式

菊川町の豊東工業団地にある株式会社ひびき精機が、同工業団地内に新工場を建設することが決定しました。7月31日、市役所で山口県の立ち会いの下、下関市と

同社との間で新工場建設協定調印式がありました。同社の精密金属加工技術を生かして、半導体製造装置の部品などを製造していますが、建築面積約2000平方メートルの新工場で新たに航空機部品を製造します。

夏休み親子 避難所体験in2013

7月28日、「夏休み親子避難所体験」が下関市立青年の家であり、16家族・約50人が参加しました。

この催しは、市民に対する防災意識の高揚と知識の普及・啓発、災害時における職員の対応力向上を図るために毎年行われ、今回で10回目です。

参加した皆さんは、避難所設営訓練や給水車による給水訓練、炊き出し訓練などを体験し、防災意識を高めました。



避難所設営訓練の様子

株式会社ひびき精機 新工場建設協定調印式



(左から) 株式会社ひびき精機 松山社長、山口県 和田審議監、中尾市長

国登録有形文化財 4件増えました

されます。

旧宮崎商館は、1907年に石炭輸出や炭鉱経営を行った宮崎儀

7月19日の国の文化審議会の答申を受け、旧宮崎商館(田中町)と護國寺(上田中町二丁目)にある清正公堂、納骨堂、門柱の計4件が、国の登録有形文化財に登録

一によって建てられた、れんが造りの2階建てです。現在、1階は医院として使用されています。護國寺の清正公堂は戦国武将・加藤清正を祭った堂で1897年に建築。納骨堂と門柱は、それぞれ1921年と1906年に建築されました。同寺の本堂は、2003年に登録されています。



護國寺納骨堂・護國寺清正公堂(右)



護國寺門柱



旧宮崎商館

韓国伝統生活 文化体験展

下関市・釜山広域市姉妹都市締結37周年を記念し、7月23日〜25日、韓国伝統生活文化体験展がドリムシップでありました。23・24日はビビンバ、チャプチェ、

プルコギなどの伝統料理実演がありました。講師が伝統的な宮廷料理で使用された食材の説明をする、訪れた人は皆、興味津々に聞き入っていました。同時に、韓国伝統生活生活用品(工芸や刺しゅう、装飾)の展示も行われました。



オープニングセレモニー



食材の説明

「第53回 久留島武彦文化賞受賞」
幸町の児童書専門店「こどもの広場」代表の横山眞佐子(65)さんが、このたび青少年文化の向上と普及に貢献した個人と団体に贈られる久留島武彦文化賞を受賞しました。
横山さんは、1979年に同店を開き、約15年前から市内の小学校を中心に選書会を始めました。選書会は、より多くの子どもたちに本と触れ合ってもらうために開かれ、横山さんたちが新刊5000冊に目を通し、その中から選び抜かれた本が学校に持ち込まれます。子どもたちはその中から好きな本に投票し、より多くの投票があったものから図書室の本になります。選書会では本に興味を持つ

「子どもたちが本を手取る所までをつないでいきたい」

てもらうために「ブックトーク」を行い、子どもたちが本を選ぶ手助けもします。自分が本を選ぶことで主体性が引き出されるという効果もあるそうです。
横山さんは幼少の頃、病弱でつらい思いをしていましたが、お父さんが本の読み聞かせをしてくれることで、苦しみを忘れ本に癒やされました。本を読むことで、自分を現実の苦しみから引き離すことができ、現実に戻った時に少し違う場所を立てる物事を考えることができることがあると語ります。一人でも多くの子どもが本に癒やされ、豊かな時間を過ごせるように、横山さんはこれからも活動を続けていきます。



横山 眞佐子さん